

平成15年度

田原市
中学生海外交流事業

見_て触_{れて}感_{じて}



カナダ_で学んだこと

田原市の中学生9名と引率者2名の計11名の皆さんが、
9月26日(金)～10月6日(月)の11日間、
カナダ・バンクーバー市などを訪問しました。
滞在中は、ホームステイや中学校(ポイントグレイ校)への体験入学、
ビクトリア島の見学などで現地の人々と交流し、見聞を広めました。
帰国後の10月14日(火)には、市役所で報告会が行われました。
ここでは、報告会で発表された内容の一部をご紹介します。(敬称略)
指導室 ☎23局3679



素晴らしい出会いに感謝!

中学生海外派遣団長

田原中学校長

中神時彦なかみときひこ

「人生の幸せは、素晴らしい人との出会いの数によって決まる」と言われますが、私たちがホームステイさせていただいた方々との出会いは、まさに素晴らしい出会いであり、私たちははるか海の向こうに、新しい友だちと温かな家族を作ることができ、ほんとうに幸せな体験ができたと思います。

一皮むける たはらっ子

引率教員

野田中学校教諭

仲谷宏昌なかやこうすけ

ポイントグレイ校の教育システムは日本の大学のように、自然と生徒に「自立」「自己責任」が養われる環境でした。自分で授業を選び、落第、飛び級がある。しかし裏側には「自由」があり、想像力や個性を伸ばすという意味では興味を抱きました。生徒たちが11日間の滞在で、一皮むける様子を目の当たりにでき、嬉しく思います。

コミュニケーションの大切さ

東部中学校3年

川口貴大かわぐちたかひろ

バンクーバーの街並みは建物と木のバランスが良く、あまり電柱や電線が無いのできれいでした。住んでいる人は目が合うときさくに話しかけてくれました。自動販売機の代わりにカフェが多く、これは物を買うときもお店でちょっとした会話を楽しむためだそうです。コミュニケーションを大事する政策が、街をきれいにしていると感じました。